

WEB公開

EAIE2025 ヨーテボリ大会 《STUDY IN JAPAN 日本合同ブース》 出展団体アンケート集計結果

回答：ブース出展 15団体中 15団体（回答率:100.0%）

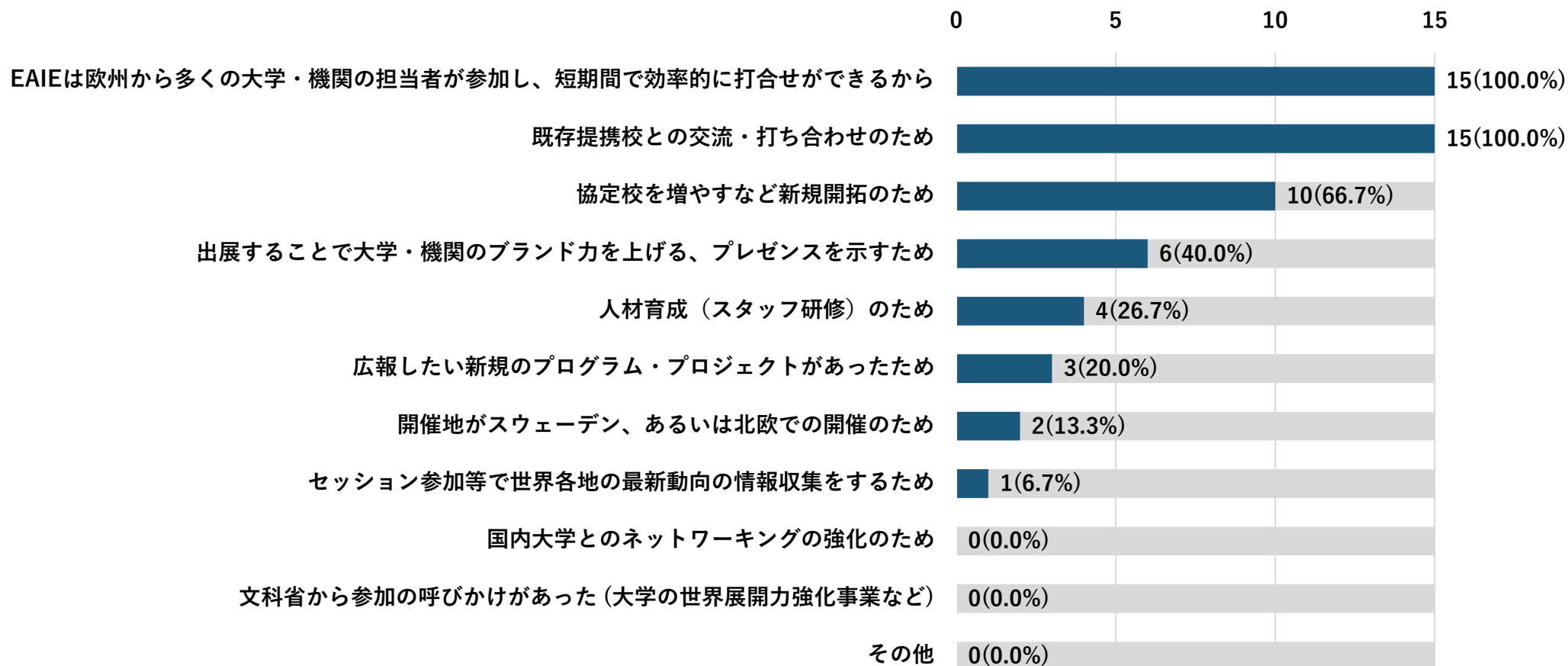
- ◎大会終了後（2025年10月）にWEBアンケートを実施。
- ◎実際に参加された教職員の方に回答を依頼。

1

EAIE2025ヨーロッパ大会に出展した理由を教えてください。

1. 出展理由（複数選択可）

回答数=15

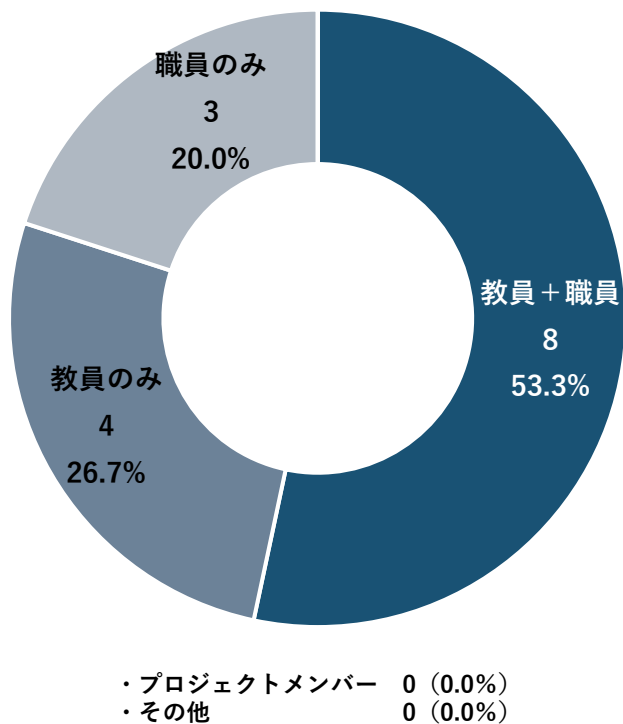


2

ブース対応の大会参加者について伺います。

2-1. 参加者カテゴリー（複数選択可）

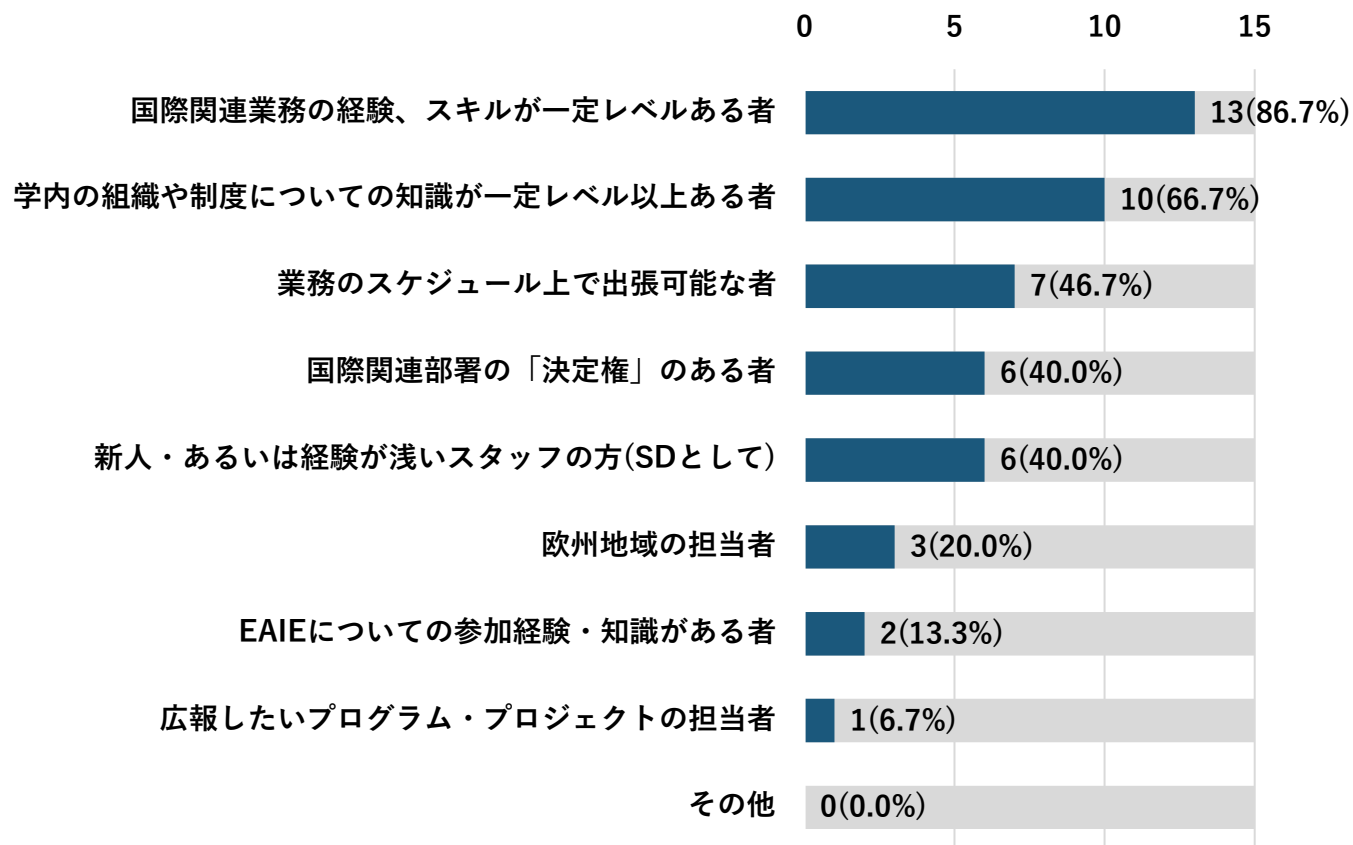
回答数=15



※複数回答可としていたが、単一回答のみのため円グラフにて集計

2-2. 参加者選出の基準（複数選択可）

回答数=15

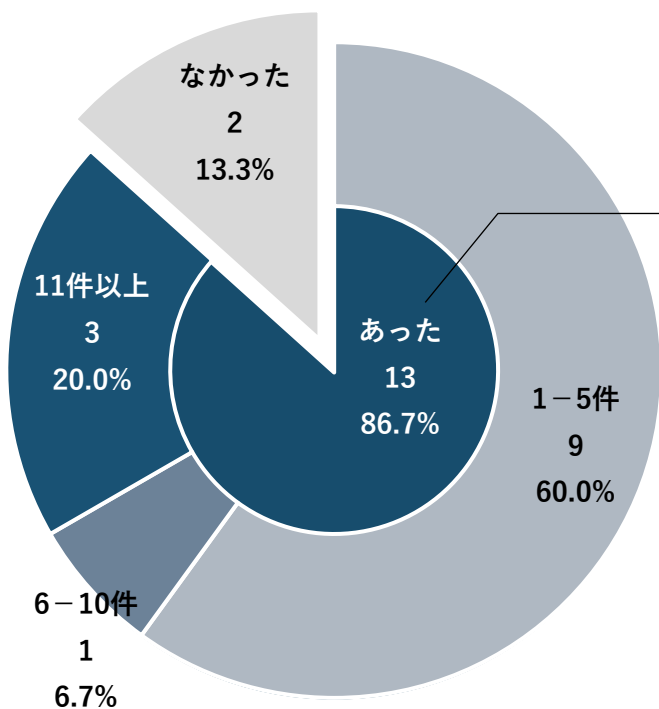


3

対面の大会では、事前のアポイント無しブース訪問が生まれやすいと思います。
貴学ブースでも「飛び入りの打合せ」がありましたか。

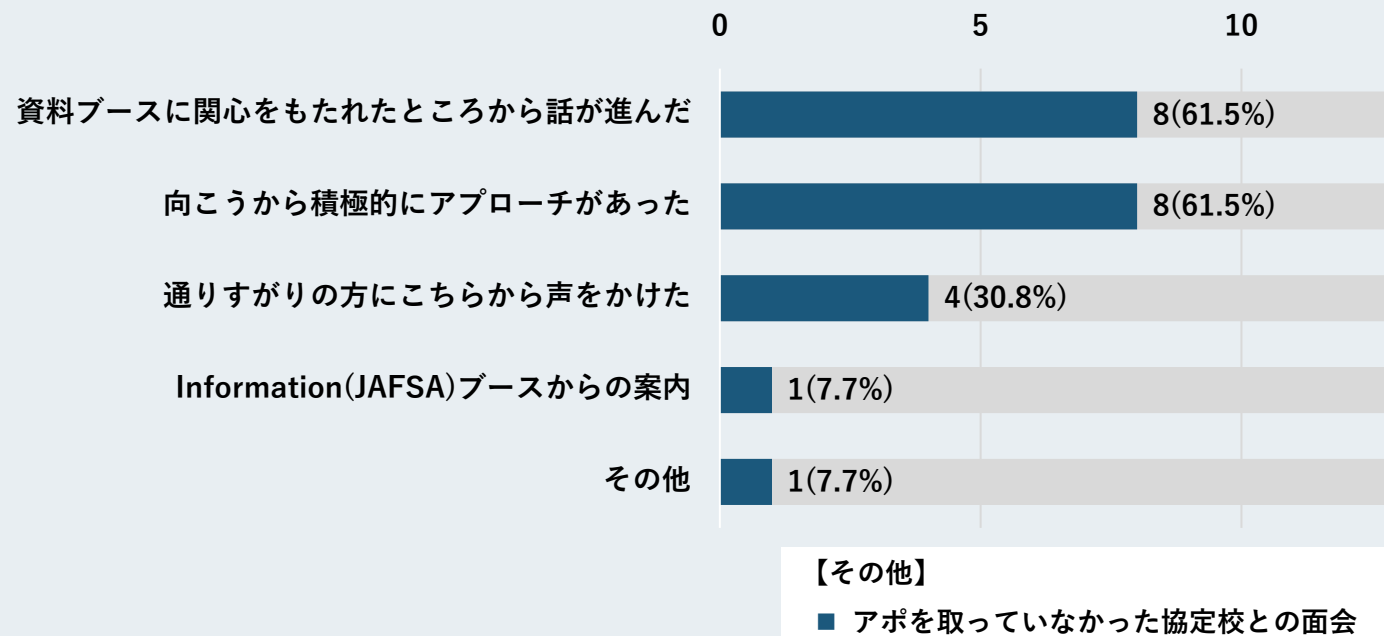
3-1. 飛び入りの打合せ件数（単一選択）

回答数=15



3-2. 打合せのきっかけ（複数選択可）

回答数=13

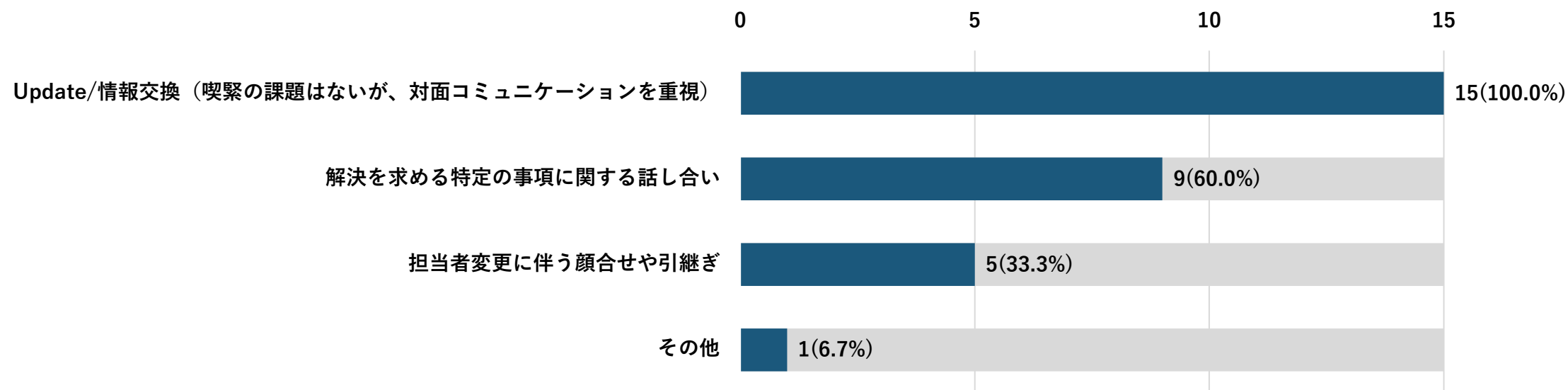


4

既存の協定校とは、どのような打合せをされましたか。

4. 既存協定校との打合せ内容（複数選択可）

回答数=15



【その他】

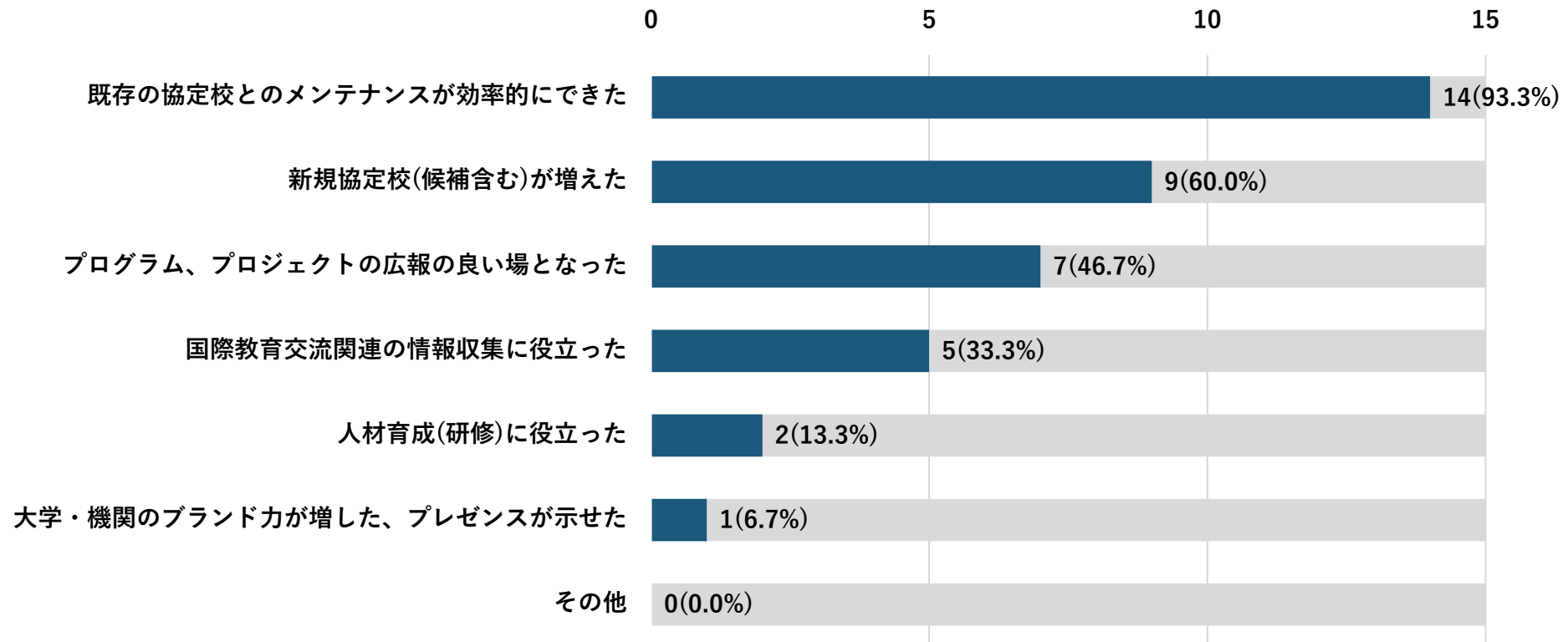
- 派遣者数を増やすための工夫や解決策についてアドバイスをもらう

5

出展した成果について教えてください。

5-1. 出展成果（3つまで選択可）

回答数=15



5

出展した成果について教えてください。

5-2. 成果の具体的な内容（自由記述）

回答数=10

- 協定締結を検討している大学担当者とミーティングを行うことができた
- 欧州の大学との協定校締結に向けた協議を進められることとなった。（コンタクトを取り始めたのは20大学程度）
- 既存協定校計30校との面談を実施し、情報交換等を行うことができた。
- 職員の離職や異動が続いたため、協定校とのメンテナンスや人材研修に役立った
- 協定校と近況報告や情報交換をすることができた。とくに、2025年秋期に学生の受入・派遣を行う協定校とは、学生についての情報共有や緊急時の対応方法等について、有意義な打ち合わせを行うことができた。また、ドイツおよびチェコの協定校と協定内容を拡大するきっかけができた。
- 国ごとに注力している取組み、分野を知ることができた。これまで対面では会ったことのなかった各大学の担当者と顔合わせをすることで、その後のやり取りがスムーズにできた。
- 2.5日間で20の協定校の担当者とMeetingを実施でき、対面ならではの挨拶と情報交換ができた。また協定締結を希望する大学2校とMeetingを実施できた。1校は協定締結予定、1校は継続協議。
- 実質2日半という限られた時間の中でしたが、出展のおかげで協定校とのミーティングを効率よく終えることができ、本学がまだ関係を持っていなかった国々の大学やポリテクと、今後の関係構築に向けた話し合いを行うことができました。
- 世界の高等教育機関の動向の把握、とくに欧州において、情報収集できる良い機会となった。また北米留学希望者が若干減少している中で、中央・東欧州という新たな選択肢について理解を深めることができた。
- ①受入が滞っている大学に対して、滞留の原因を解消でき、今後の受入が見込める状況になったこと、②受入・派遣学生の課題と対応について具体的に情報共有ができたこと、③学生の派遣にあたり、今後の学生指導に有益な最新情報を得られたこと、④本学が実施する特別プログラムのプロモーションを担当者に直接できたこと。

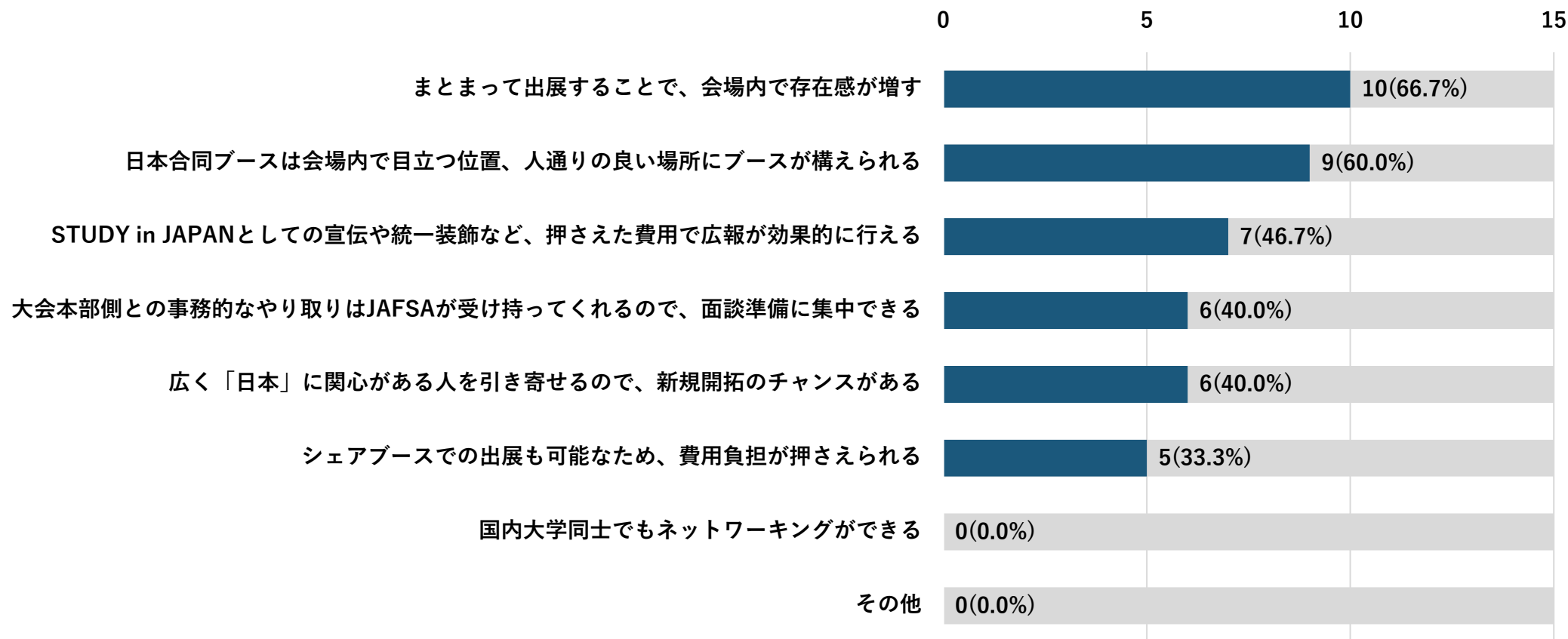
6

単独ブース(1大学のみで出展)でなく、

「日本合同ブース」で出展するメリットをどこに強く感じますか。

6. 「日本合同ブース」出展のメリット (3つまで選択可)

回答数=15



EAIE2025ヨーロッパ大会に 参加された感想や出展に関するご意見などをお聞かせください。

8. EAIE2025の感想・意見（自由記述）

回答数=10

- EAIE2025では、参加目的を概ね達成することができ、有意義な大会となりました。日本合同ブースは会場の中心に位置していたため、多くの大学や機関から関心を寄せていただき、本学を知っていただく良い機会になったと感じております。また、日頃メールでやり取りをしている協定校の担当者と直接お会いし、ミーティングを行うことができたのは、非常に貴重な機会でした。
- 始めて参加したため他の大会と比較出来ませんが、各大学が活発に交流されている様子がとても印象的でした。海外大学が日本の大学にどのような分野の学びを求めているか、どのような面で日本とのコラボレーションを期待されているかについて知る良い機会になりました。
- 急遽2名から1名体制となり不安もありましたが、JAFSAおよびJASSOの皆さまのご支援のお陰で、安心してネットワーキングや打合せを行うことができました。心より感謝申し上げます。
- 本学は欧州とのつながりが強くなかったため、改善が必要でした。EAIEを通じて多くの大学と知り合うことができ、複数の協定候補校を獲得することができたことが大きな収穫だと考えています。
- いつも日本ブースとして良い場所を確保いただきありがとうございます。
- ①先方と打ち合わせした際、装飾の桜が好評でした。
②今回、Study in Japanのピンバッチが配布されましたが、Study in Japanブース外での打ち合わせの際にも日本への留学を宣伝できましたし、他の大学の方との一体感も出せてよかったのではないかと思います。

EAIE2025ヨーロッパ大会に 参加された感想や出展に関するご意見などをお聞かせください。

8. EAIE2025の感想・意見（自由記述）

回答数=10

- 昨年に引き続き参加しましたが、ブースの位置によって来訪者数に大きな違いがあることを実感しました。今年は予め予定していた面談の件数も多く、特段問題はありませんでした。
- 出展案内を早めに頂けると学内決済を取りやすいため助かります。
- 対面で協定校と直接やり取りする貴重な機会を得られました。ブースの設営や運営などでお力添えいただきましたこと改めて深く感謝申し上げます。
対面で協定校とやり取りができるという点でその意義は確実にあると思います。ただし、ヨーロッパの協定校がこうした国際教育交流の大会にどれだけ意義を見出しているかは少し疑問に思われました。アポイントメントを取る際にそもそも参加しない大学もあったためです。協定校をこれ以上増やす方針のない大学も増えていて、そのような中で多額の費用を負担し、このような大会に参加することに意義を見出さなくなっているのかもしれない。
例えば、research internshipのプログラムなどが増えていることなども知り、そういった新たな取り組みを知ることができるという点では有益でした。ただ、派遣者数を増やしたりする上でどのような解決策が可能かなどのより複雑な問題を考える上では30分区切りで慌ただしくミーティングすることはそこまで効果的ではないかもしれません。協定校と気軽にオンラインで打ち合わせできるこの時代において、このような大会を通して何を得られるのかは参加者としても今一度よく考える必要があると思いました。